



国営ひたち海浜公園  
PRESS RELEASE

季節の花便り

## 森の妖精「オオウメガサソウ」

“「ひたちなか自然の森」植物保護区の臨時開放”

について

謹啓

向暑の候 皆様方には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、森の妖精と称される「オオウメガサソウ」が園内で開花し始めました。

海浜公園が面する太平洋は、寒流と暖流がぶつかる場所であることから、園内には北限或いは南限に近い生物が混在しています。その1つが、今回紹介するオオウメガサソウです。

オオウメガサソウは当公園が世界の南限地とされ、環境省レッドデータブックでは準絶滅危惧種に指定されるほか、茨城県版レッドデータブックにおいては絶滅危惧種に指定されるなど大変貴重な植物です。

この度、この貴重な植物を育んだ自然環境をより多くの方に観ていただき、自然への関心を深めてもらおうと、通常は植物保護区として立ち入りを禁止している区域をオオウメガサソウの開花にあわせて6月25日(土)～7月3日(日)まで臨時開放いたします。

つきましては、皆様には御多忙中のことと存じますが、取材並びに記事掲載の程よろしくお願い申し上げます。

謹言



撮影 平成17年6月19日

### お問い合わせ先

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4  
ひたち公園管理センター企画課 穂積・加藤・渡辺  
電話(029)265-9005 FAX(029)265-9339  
お客様問い合わせ番号(029)265-9001  
ホームページ <http://www.hitachikaihin.go.jp>

# 森の妖精「オオウメガサソウ」について

## “「ひたちなか自然の森」植物保護区の臨時開放”

1. 目的 「ひたちなか自然の森」の一部エリア内の遊歩道は、野生植物の保護・育成のため、通常は一般来園者を立入禁止としています。  
そのエリアにおいては、現在、オオウメガサソウをはじめ、ウメガサソウ、イチヤクソウ等の稀少植物が開花期を迎えています。  
今回、このエリアの貴重な自然環境をより多くの人たちに観ていただき、自然への関心を深めてもらう事を目的として、臨時開放を実施するものです。
2. 期間 平成17年6月25日(土)～7月3日(日)
3. 場所 ひたちなか自然の森(別図参照)
4. その他 ひたちなか自然の森入口(別図参照)に受付テントを設置していますので、受付後、観察ルートに従って進んでいただきます。  
同所では、「茨城生物の会」の会員または公園のスタッフが、定期的に植生調査等を行っていますので、ガイドを受けることも出来ます。  
臨時開放区域への立入は、同エリアへの負担軽減を考慮して、一時の最大立入人数を50名に限定します。

状況によりお待ちいただくことがあります。

### オオウメガサソウについて

オオウメガサソウはイチヤクソウ科の多年生の草状小低木で、北半球の冷温帯から亜寒帯を中心に分布しており、日本では、北海道、青森県とひたち海浜公園などに自生しています。

日当たりの良いアカマツ林の林床の貧栄養な砂質土壤に、地下茎を伸ばして生育しています。

オオウメガサソウは、環境省レッドデータブックでは準絶滅危惧種、茨城県レッドデータブックでは絶滅危惧種に指定されている植物であり、世界の南限地となっています。

名前の由来は、梅の花に似た花を咲かせるため「ウメガサ」の名が付き、よく似た「ウメガサソウ」より大きいことから「オオウメガサソウ」になりました。例年6月から7月の梅雨の時期に花が咲きますが、ひとつの個体が花をつけるようになるまで5～7年かかると言われています。

とるのは写真だけにしてもらいたいものです。(「都市公園法」で、動植物の採取は禁止されています。)



「オオウメガサソウ」 撮影:平成17年6月19日

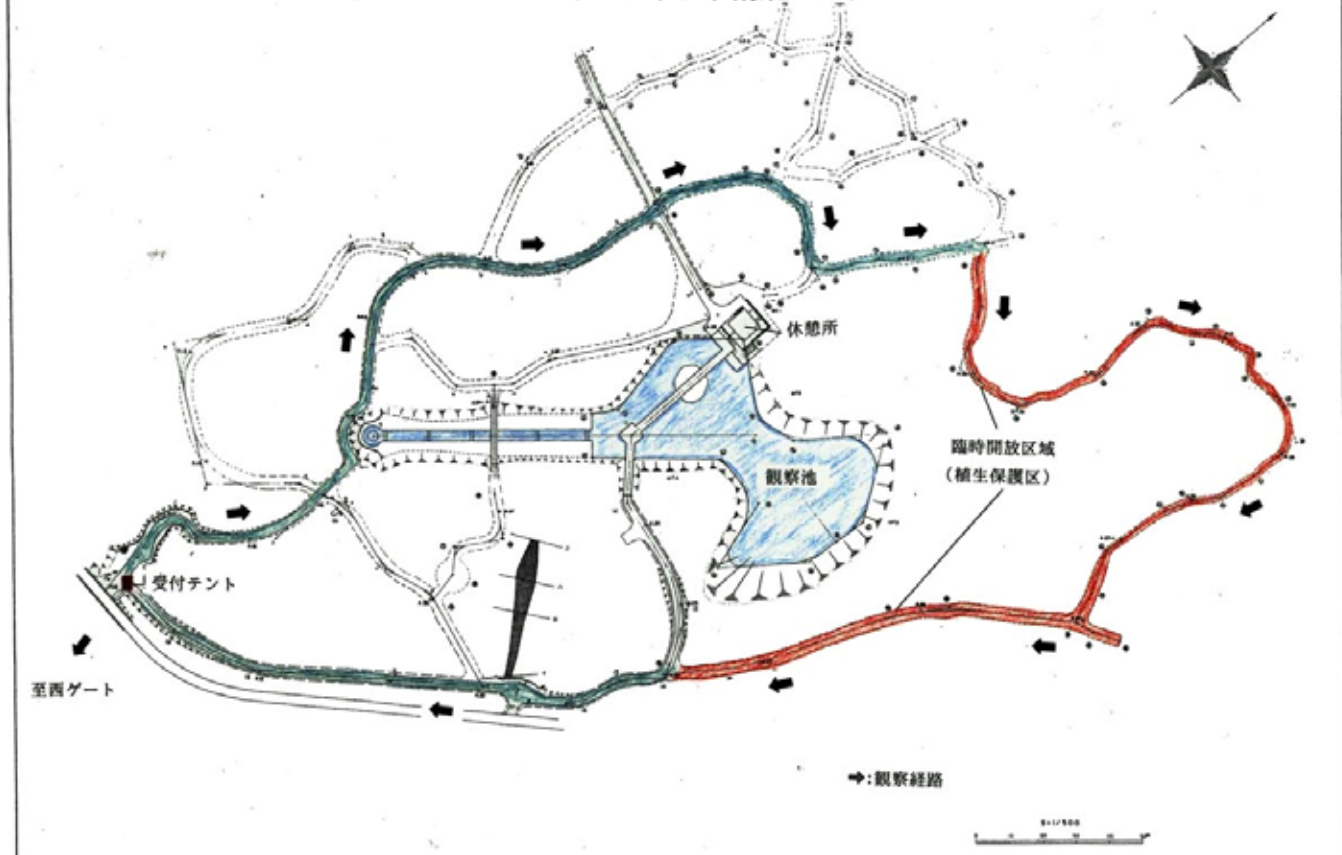


「ウメガサソウ」 撮影:平成14年6月16日



「イチヤクソウ」 撮影:平成14年6月16日

オオウメガサソウ観察ルート



公園全体図

